

一行35人 舞鶴入り

平和の灯を囲み舞鶴空襲の犠牲者を追悼する「国際平和巡礼」の参加者ら



被曝しているという。輸出量一万吨の内、日本と米国はそれぞれ三千トンを輸入する原産大国である。

東(車ポンプ)、西大浦(小ポンプ)が優勝

市消防団 団員ら訓練の成果競う

第三十一回舞鶴市消防団消防操法大会が四日、泉源寺の海上自衛隊舞鶴教育隊グラウンドであり、ポンプ車操法の部で東消防団、小型ポンプ操法の部で西大浦消防団が優勝した。

市内二十個団の消防団

員が、日ごろの訓練の成果を競う大会。ポンプ車操法(出場九個団)、小型ポンプ操法(同十一個団)に、各団から選ばれた約五百人が出場した。大会では、火災発生を想定して、団員らがポン



ポンプ車操法に取り組む消防団員

プ車や小型ポンプで消火に当たるまでの迅速さや正確さなどを競った。夏の日差しが照りつけるなか、きびきびとした動きの団員らの訓練ぶりを、市消防本部職員が審査し

カフェとオカリナ演奏

「ビバー」夜の市のイベント

北田辺のみずなぎショップ「ビバー」で三日、夜の市のイベントとしてカフェとオカリナ演奏会を開催した。みずなぎ学園の職員とピバスタッフがコーヒーを販売したり、ボランティアが演奏した。

知的障害者授産施設「みずなぎ学園」の園生が製作する陶器や書、縫製作品、パンなどを販売する店として、NPO法人CASネットワーク(志摩敏樹代表理事)が

開設した。この日のイベントはみずなぎ学園の主催。夜からは和高牧子さんと妹、母親の三人がオカリナで「大きな古時計」などを演奏。多くの市民が夕涼みながらマナイと平野屋の夜の市に訪れ、足をとめて演奏を聴き入った。

次回は十七日午後六時〜同八時、小学生による「第一回こどもの主張」を開く。会場は若の湯斜め前の駐車場。



新造船のフェリー「はま

舞鶴港と北海道・小樽港を結ぶ新日本海フェリーの新造船「はまなす」が、七月から就航した。国内最速の

フェリーで、所要時間がこれまでの三十時間から約二十時間に短縮され、市民にとって北海道がぐっと近くなった。



オカリナを演奏する和高さんたち



溝尻の塩尻さんが栽培

溝尻の無職、塩尻常夫さん(73)が、自宅近くの空き地を開墾した花壇で、高さ三呎のヒマワリの花を咲かせた。写真。ジャンボサイズのヒマワリは、近所で評判になっており、塩尻さんは「このヒマワリの種を欲しい人は連絡を」と呼びかけている。

塩尻さんは、荒れ放題となっていた道路沿いの空き地に、心ない人たちがごみを捨てるため、昨年一月、土地の所有者の了解を得て花壇づくりを始めた。空き地の広さは約八十山側か根を刈

人で、積載能力は乗用車六十六台、トラック百五十八台。舞鶴港を毎日午前〇時半に出航、小樽港に翌日午後八時半に到着する。0、舞